



発行者

学校法人聖隸学園

聖隸クリスチヤン大学・大学院

聖隸介護福祉専門学校

聖隸クリスチヤン高等学校

〒433-8558
浜松市三方原町3453
電話/053(436)5311
<http://www.seirei.ac.jp>

聖句

キリストは：わたしたちの卑しい体を、
御自分の栄光ある体と同じ形に変えてくださいる：

フイリピの信徒への手紙3章21節

聖隸クリスチヤン大学のキャンパスづくり

聖隸クリスチヤン大学 総務部長 今西野百合

聖隸クリスチヤン大学は今年度(2002年)度四月、看護学部に加えて社会福祉学部を開設し、看護学科と専攻科助産学特別専攻を置く聖隸学園浜松衛生短期大学を大学の看護短期大学部として新たな歩みを始めました。その準備として二〇〇一年度ほぼ一年をかけて大学二号館の新築と建築後十年を経過した一号館外壁の改修工事を行いました。また今年度に入つてからは引き続き緑化工事を行いキャンパス整備事業を進めました。

現在、次の計画として二〇〇四年度に看護短期大学部を改組して看護学部の定員増を行い、リハビリテーション学部を増設する準備を進めています。また敷地と共にいる聖隸クリスチヤン大学校舎の新築・移転が来年九月に決まりました。六月に植栽を終えた樹木、芝生などが根付きかけた今、これまで聖隸学園の歴史を刻んできた三万原のこの地を今後は聖隸クリスチヤン大学のキャンパスとして再整備する事業に着手しています。

大学三号館の新築工事は今年度末に着工します。この校舎は六階建てで、リハビリテーション学部各専攻の実習室、訓練室、治療室のほか、全学用として大教室、小教室、演習室、研究室などを配

置します。並行して高等学校移転後に、その一部および特別教室棟を改修して実習室、会議室、事務管理エリアに転用する工事に取りかかります。その他

順次行う予定です。さらに元専門学校校舎を学友会館に改修して学友会室やクラブ・サークル室用の建物とし、一階には学生サービスセンター、健康管理センター、学生相談室などを配置します。

将来はキャンパス内に校舎四号館、独立した建物として総合図書館、チャペルを新築し、既存校舎も含めこれらの建物が敷地の南側と東側にまとめて配置され、老朽化した高校校舎等を取り壊した跡は緑化して学生、教職員はもとより隣接する聖隸グループの医療、福祉施設や地域の皆さん憩いの場にする計画です。

社会福祉学部開設を機に各学部教育課程に盛り込まれた全学共通科目の試みは四月から順調にすべり出しています。いずれも人間の健康と福祉に関わる各学部の学生がこの三万原のキャンパスで共に学び互いに切磋琢磨し、卒業後は専門職として健康を損ない苦しむ人々や障害をもつ人々が尊厳をもつてしあわせに生活ができるよう互いに連携して仕事をす



▲聖隸クリスチヤン大学校舎・体育館配置設計図

い、そのような機能を備えた校舎にしたいとの願いをこめてこれらの事業に取り組んでいきたいと考えています。

このキャンパスが、同窓会をひとつにするかつての福祉医療ヘルパー学園、聖隸学園浜松衛生短期大学、そして聖隸介護福祉専門学校、聖隸クリスチヤン大学の卒業生の皆さんのがいつでも利用でき、帰ってくることのできる場、そして地域の方々の生涯学習の場であることも同時に願うところです。

このキャンパスが、同窓会をひとつにするかつての福祉医療ヘルパー学園、聖隸学園浜松衛生短期大学、そして聖隸介護福祉専門学校、聖隸クリスチヤン大学の卒業生の皆さんのがいつでも利用でき、帰ってくることのできる場、そして地域の方々の生涯学習の場であることも同時に願うところです。

政治家や官僚の腐敗・汚職は戦後の現象であろうか。教育勅語を暗誦させられた人が「私」と呼ぶものが「体」である。「自己」が理屈の一つに挙げられる。教育基本法は個人主義を助長し、その結果、社会的責任を担おうとしない人間を作っていると

いう。政治家や官僚の腐敗・汚職は戦後の現象であろうか。教育勅語を暗誦させられた人が「私」と呼ぶものが「体」である。「自己」が理屈の一つに挙げられる。教育基本法は個人主義を助長し、その結果、社会的責任を担おうとしない人間を作っていると

聖書のことば
佐柳文男
聖隸クリスチヤン大学 教授

聖書のことば
佐柳文男
聖隸クリスチヤン大学 教授

教育基本法を改訂しようとする動きがある。政治家や官僚の腐敗がはびこっていることが理由の一つに挙げられる。教育基本法は個人主義を助長し、その結果、社会的責任を担おうとしない人間を作っていると

いう。政治家や官僚の腐敗・汚職は戦後の現象であろうか。教育勅語を暗誦させられた人が「私」と呼ぶものが「体」である。「自己」が理屈の一つに挙げられる。教育基本法は個人主義を助長し、その結果、社会的責任を担おうとしない人間を作っていると

いう。政治家や官僚の腐敗・汚職は戦後の現象であろうか。教育勅語を暗誦させられた人が「私」と呼ぶものが「体」である。「自己」が理屈の一つに挙げられる。教育基本法は個人主義を助長し、その結果、社会的責任を担おうとしない人間を作っていると

新たな看護学部に向かつて （看護短期大学部の発展的解消）

聖隸クリストファー・大学 学長
深瀬須加子

り、二〇〇三年度に入学した学生が卒業する二〇〇五年度（二〇〇六年三月）をもつて閉部となります。今日の聖隸学園の礎であつた看護教育は准看護婦養成所から看護高校・看護短期大学へと発展的に改編されつつ今日に至りました。三〇余年の歴史を持つ短期大学部の幕を閉じるのは一抹の淋しさをきんじません。今回、国公立を含め、多くの大学では改編が進められておりますが、本学も同様、短期大学は看護学部への移行が計られました。これはこれから保健・医療・福祉に対する社会ニーズの変化に対応するためのものであり、より結束を深めて行くものです。また、二〇〇四年度には新たにリハビリテーション学部（仮称）を増設する予定で、すでに準備を進めております。これは、聖隸の理念に基づいた社会貢献への表れです。

さて、一本化される看護教育は増設されるリハビリテーション学部と同様、二〇〇四年度の入学生から開始されます。一本化された看護学部なので、その組織は社会需要に答え

本年度から社会福祉学部、看護学部（大学院看護学研究科含む）、看護短期大学部の三学部体制とし、大学の規模拡大と組織の改革により、新しい大学として踏み出しました。まだまだ改善の余地は残されておりますが、この九ヶ月順調に歩んで参りました。現在、大学では一般入学試験の時を迎えております

ハード面、ソフト面から準備を進めておりましたが、本年度はソフト面として短期大学部、看護学部の全教員によつて教育プログラムが作成されました。次年度については構築された科目の教授指導について、科目担当者グループで更に検討を重ねる予定です。新看護学部の大きな変更は保健師、看護師の国家試験受験資格を取得できる他、選択することにより助産師の国家試験受験資格についても取得できるところです。しかし、この場合授業も過密になることから、真に助産師を希望する者に限られるので、一〇名以内に留まると思います。また、三年次編入生にも選択できるという特色があります。

現在、保健医療に対し社会では厳しい目が向けられております。看護職業人としての姿勢や態度、また総合的な看護技術の基礎をしつかり身に付けさせそれぞれの就職先に送り出すべく教員一同、種々研究を重ねているところです。

るためにも定員増が計られました。即ち、一学年の定員は現看護学部一〇〇名から一四〇名に増加する予定です。更に、看護師資格を有する者で三年次編入五名、大学卒業者の学士編入(二年次編入)五名の一〇名を新たに加え総計一五〇名となります。保護者の皆様方からも受験生のご紹介を頂ければ幸いです。

は、理学療法学専攻(30名)、作業療法学専攻(30名)、言語聴覚学専攻(20名)からなり、それぞれ理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の国家試験受験資格を取得できます。どの専攻においても聖書の人間観に基づく深い人間理解の上に、「ひとりひとり」を大切にする、高度な知識・技術を兼ね備えた医療技術専門職者を養成し、関連施設をはじめとする地域に対し、教育・研究・研修機関としての責務を果たすとともに、国内外の新しい時代に対応できるリハビリテーションの実現に保健・福祉との連携を図りながら寄与することを目指します。教育課程では臨床実習が重視されるため、聖隸三方原、聖隸浜松病院をはじめ、県内病院を中心に現在のところ一〇〇余の実習施設にご協力いただくことになっております。

大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻(10名)は二〇〇一年四月に開学した社会福祉学部を基盤として、社会福祉臨床分野(ワ

二〇〇四年四月に看護短期大学部の改組転換(リハビリテーション学部増設と看護学部定員増)と大学院社会福祉学研究科修士課程の増設を行う計画で、リハビリテーションの専門職育成に着手することで、人間のライフサイクルにおける健康、疾病、障害に関わる専門職を育成する総合的な大学として一層の

フィールドをベースにして、社会福祉援助活動の実践場面で指導的役割を果たすことでのできる高度な専門職者及び社会福祉の教育者の育成を目指します。

リハビリテーション学部、大学院社会福祉学研究科増設とともに現在までのところ所轄庁との事前相談を数回重ねており、学内外の多くの方々のご支援により順調に準備が進んでおります。今後、二〇〇三年四月のリハビリテーション学部増設認可一次申請、六月の大学院社会福祉学研究科増設認可申請に向けて、一層努力してまいります。

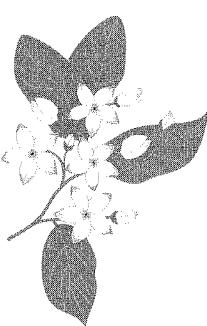
今後、隨時情報提供させていただきますのでご意見、ご要望、お気づきの点がございましたら、法人事務局企画部企画課までご連絡ください。

応用を身につけた上で理論と実践の融合を図り、社会福祉援助活動の実践能力を高めることを目標とする分野)、社会福祉臨床研究(障害・高齢者福祉Ⅱ・社会福祉学の中での障害・高齢者福祉分野の理論化、体系化、そして地域における障害・高齢者福祉の実践を推進することを目標とする分野)の二分野を設け、

リハビリテーション学部、大学院社会福祉学研究科 増設準備状況について

法人事務局企画部長 小柳守弘

大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻（二〇名）は二〇〇一年四月に開學した社会福祉学部を基盤として、社会福祉臨床分野（ソーシャルワーカー／ソーシャルワーカーの基礎と



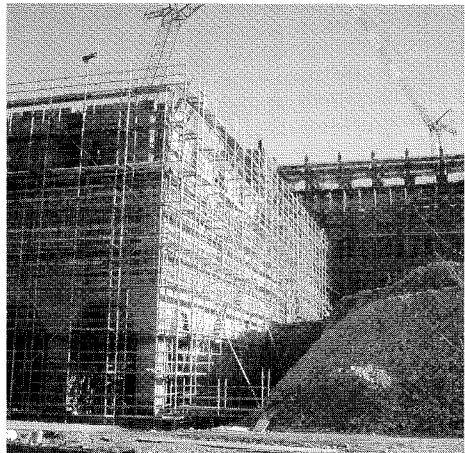
新校舎建築の歩みと工事進捗状況について

聖隸クリスチマーク高等学校 事務長 安間 典子

一九九九年九月、校舎移転構想委員会の第一回会議が開かれ、その年の十二月末までに基本構想をまとめることが確認されました。

校舎に対するイメージ作りと、今後の学校運営の参考にと、まず学校見学から始め、特に最近建築された特色ある教育実践を展開している高校県外六校、県内三校を選び二、三人がチームを組んで見学し、それを持ち寄って検討を重ねました。

基本構想の中で特に心がけたことは、学校の主役は生徒たちであることを第一に考え、また、学校は生徒たちの一日の生活の大部分を過ごす場であることを考え、「生徒が生きやすい空間」「居心地の良いもの」であることと、「生徒が誇りをもてて、目標達成できること」を造りたいということでした。この考えは校舎完成に至るまで変わることはあ



▲建築中の新校舎・体育館

二〇〇二年六月二七日、起工式を生徒の参列のもとに執り行いました。その後直ちに掘削工事に入り、本格的な建築工事がスタートしました。それから七ヶ月たった現在、正面玄関やサブアリーナのアーチ型ピロティーがはつきりと確認できるようになり、いよいよ新校舎と体育館は現実味を帯びてきました。年内までは校舎六階までの鉄骨が上がり、四階の一部のコンクリート打ちが終わりました。この学園報がお手元に届く頃には、最上階で

例えば、先ずホームルームの位置を全て居室等を配置すること、また昼休みや放課後にくつろげる空間としてカフェテリアを広く明るくすること、目標達成のための学習空間として、図書館を最上階におき、自習のできる個人ブースや、学習室を多く造ること、教員と生徒との距離を縮めるために職員室ができるだけ教室の近くに置くこと、もちろん完全バリアフリーにすること等です。

特別教室、図書館、体育館等を含め、生徒に学べる楽しさと利用しやすいものを考えた基本計画がほぼまとまりかけた二〇〇〇年十二月、計画の初めから中心になつて構想をまとめてきた杉本教頭が、病気で天に召されるという悲しい出来事がありました。基本計画が建築設計事務所の手によって、七階建校舎と体育館床面積合計一三、七〇〇m²の詳細な実施設計図として帰ってきたときは、本当に感慨深いことでした。

二〇〇二年六月二七日、起工式を生徒の参列のもとに執り行いました。その後直ちに掘削工事に入り、本格的な建築工事がスタートしました。それから七ヶ月たった現在、正面玄関やサブアリーナのアーチ型ピロティーがはつきりと確認できるようになり、いよいよ新校舎と体育館は現実味を帯びてきました。年内までは校舎六階までの鉄骨が上がり、四階の一部のコンクリート打ちが終わりました。この学園報がお手元に届く頃には、最上階で

ある七階の鉄骨が上がりつつある頃だと思します。なお、建築中の様子は、本校のホームページで一ヶ月ごとにその変化をご覧いただくことができます。

現在、建築工事と並行して設備備品計画と造園計画が進められています。特に造園は自然環境を生かし、野鳥が集まる小さな森を作りたいと考えています。また、本校一期生で、小羊学園に就職し、その年に発生した集団赤痢への献身的看護から蜘蛛膜下出血に倒れ、一九七六年一月召天した足立愛子さんを、聖隸学園の初穂として神に捧げた記念碑「愛のレリーフ」を移設し、この造園計画の中心に据えたいと考えています。

さて、二〇〇三年八月の完成後、どのような学校生活が展開されているでしょうか。校舎のすぐ前には総合運動場、テニスコート、フットサルコート、陸上コートが広がり、また、地下一階、地上二階建て(四、七〇〇m²)の広い体育館でも生徒達のはつらつとした躍動を見ることができるでしょう。校舎東側からは農場労作を終え、収穫の喜びにあふれた生徒たちが、作物を手に外階段を下りてきます。自習室では夜遅くまで先生に質問している生徒の姿もあるでしょう。校舎の中には光ファイバーによる全学LANが敷設され、情報教育のほか、進路情報や自学自習の一助になることを期待しています。また、卒業生の皆さんがカフェテリアで先生と語り合っている姿も見られるでしょう。野外ステージでは、生徒たちのバンド演奏に合わせ、小羊学園やわかば保育園の子供たちが、十字の園の



◀大学棟から観た高等学校新校舎・体育館(建築中)

▼高等学校新校舎・体育館起工式



月末には完成します。
現在、工事現場では毎日一三〇名前後の多くの方が作業して下さっています。今日まで順調に進んでこられましたのは、竹中工務店の優秀な建築技術と、一粒社ヴォーリズ建築事務所の緻密な設計監理におうところですが、なによりも神様のお導きとお護りのなかでありますことを心から感謝するものです。

聖隸歴史資料館特別展について

法人事務局長 堀口 路加

聖隸クリスチヤ大学に歴史資料館が開設され一〇ヶ月が経過します。「聖隸事業の根本には聖書に立ち返り、キリスト教信仰があること、創業者は常に聖書に立ち返り、キリスト教の愛の実践を重ねてきたこと」を全面に打ち出しましたことは来館された方々に強い印象を与えていました。リスト教を堅固な土台として据えた創設者たちとそれを支えた多くの人の信仰と苦闘によって切り開かれてきた時代の上に今の聖隸の発展がある、そのことを歴史は静かに物語っているのです。しかし現在の聖隸に働く職員、学生・生徒、施設に生活する方々、さらにはこの地域に住む人々には「今、自分たちのいる場所」、「聖隸のある場所」がどのような歴史の上に成り立つているかはほとんど知られていません。歴史資料館は、「今、自分たちがいる場所の歴史」と「大切に受け継がれ、これからも受け継いでいくもの」を確認することができます。

その一つとして、歴史資料館では半年ごとに「特別展」を開催することを考え、今年度はインド聖隸希望の家・ブラジル希望の家特別展(二〇〇二年九月末まで)と十字の園特別展(二〇〇三年四月まで)を開催してきました。この特別展を通して各法人が設立された経緯、そのため力を使ふされた方々とその働きが改めて掘り起こされ、「どのような時代に」、「何のために」、「何を志して」事業が始まられたかを振り返り、「今」と「これから」を深く考える材料が整そらされることになりました。

「常設展」は創業期から一九六六年までの歴史で終わっており、それ以降の資料の収集と整理が課題でしたが、再形成されていくものと期待されます。

今は二〇〇三年四月の小羊学園特別展に向けた準備が進んでおり、二〇〇三年一〇月以降は「牧の原やまばと

■2002年度補正予算について

今年度の補正予算は、11月28日の理事会で承認決定されました。その目的は、理事会在当初設定した納付金収入を超えた額の3分の1を直接教育に還元すること、またリハビリテーション学部増設、看護学部定員増、大学院社会福祉学研究科設置および高等学校移転等の中長期財務計画に沿った必要項目を反映させることにあります。

直接教育に還元する新規事業財源枠は学園全体で18,550千円としました。その主な内訳は、大学看護学部は生体シミュレータ模型4,105千円、人体解剖模型1,294千円等、教育研究経常費(教育研究に直接必要な費用)に9,852千円、母性および小児看護実習室エアコン設置工事3,539千円他施設設備費に3,799千円等、計14,000千円を充てることとしました。社会福祉学部はインド聖隸希望の家訪問旅費1,245千円、実習モデル人形429千円等教育研究経常費に2,303千円、一般管理費(学校運営全体に係る費用)として授業評価集計入力作業料に120千円等、計2,544千円を充てることとしました。看護短期大学部は臀筋注射説明模型304千円他教育研究経常費に960千円、施設設備費に313千円等、計1,497千円を充てることとしました。高等学校は500千円を施設設備費に充當します。

さらに、収入の補正、中長期財務計画に係る学園全体の優先事業等を反映させた結果、帰属収入は73,877千円増加しますが、固定資産の取得に伴う基本金組入額の増加が上回るため、消費収入全体では54,474千円の減少となります。また消費支出では、人件費が人事院勧告初のマイナス勧告により減少する等、全体で35,233千円の減少となります。その結果、消費収支差額は当初予算から更に19,241千円マイナスが増加し454,301千円の支出超過となる見込みですが、これは基本金組入額に起因するものであり、なお第二次10ヵ年計画の範囲内にありますので、今後の計画推進に影響を及ぼすものではありません。

■2002年度消費収支補正予算書

(単位:千円)

科目等	既定予算額	補正額	補正予算額
学生生徒等納付金	1,844,944	60,027	1,904,971
手数料	75,150	△13,000	62,150
寄付金	6,000	7,000	13,000
補助金	516,334	0	516,334
資産運用収入	22,350	△8,320	14,030
雑収入	22,316	28,170	50,486
帰属収入合計	2,487,094	73,877	2,560,971
基本金組入額	△349,449	△128,351	△477,800
消費収入の部合計	2,137,645	△54,474	2,083,171
人件費	1,704,947	△32,987	1,671,960
教育研究経費	607,626	△6,033	601,593
管理経費	187,545	7,428	194,973
借入金利息	29,597	0	29,597
資産処分差額	32,290	0	32,290
予備費	10,700	△3,641	7,059
消費支出の部合計	2,572,705	△35,233	2,537,472
当年度消費支出超過額	435,060	19,241	454,301
前年度繰越消費支出超過額	609,407		609,407
翌年度繰越消費支出超過額	1,044,467		1,063,708

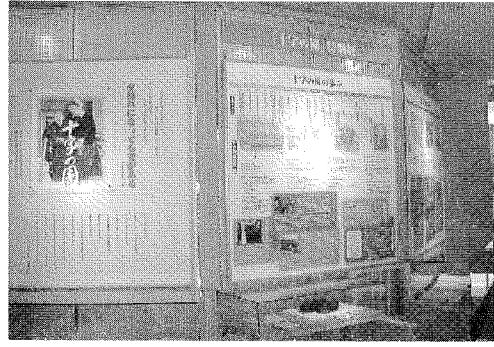
■新規事業の事業予算別内訳(固定資産を含む)

(単位:千円)

分類	看護学部	社会福祉学部	短期大学部	専門学校	高等学校	合計
教育研究経常費	9,852	2,303	960	0	0	13,115
学生経費	49	9	34	8	0	100
施設設備費	3,799	59	313	0	500	4,671
一般管理費	12	173	190	1	0	376
人件費	288	0	0	0	0	288
合計	14,000	2,544	1,497	9	500	18,550

聖隸クリスチヤ大学に歴史資料館が開設され一〇ヶ月が経過します。「聖隸事業の根本には聖書に立ち返り、キリスト教信仰があること、創業者は常に聖書に立ち返り、キリスト教の愛の実践を重ねてきたこと」を全面に打ち出しましたことは来館された方々に強い印象を与えていました。リスト教を堅固な土台として据えた創設者たちとそれを支えた多くの人の信仰と苦闘によって切り開かれてきた時代の上に今の聖隸の発展がある、そのことを歴史は静かに物語っているのです。しかし現在の聖隸に働く職員、学生・生徒、施設に生活する方々、さらにはこの地域に住む人々には「今、自分たちのいる場所」、「聖隸のある場所」がどのような歴史の上に成り立つているかはほとんど知られていません。歴史資料館は、「今、自分たちがいる場所の歴史」と「大切に受け継がれ、これからも受け継いでいくもの」を確認することができます。

その一つとして、歴史資料館では半年ごとに「特別展」を開催していく予定です。この他歴史資料館では、ボランティアの方々の力を借りながら収蔵している資料リストの整理と照合を進めており、又未公開の映像を再編集した二十数本のDVDも完成し貴重な映像資料をご覧いただけます。



▲開催中の十字の園特別展(2003年4月まで)

■入学試験に関する情報

2003年度入学者選抜試験を、下記日程で行います。

◇看護学部

入試種別	募集人員	出願期間	選抜期日	合格発表	入学手続期間
一般入試(前期)	45名	1月 6日(月) ～ 1月24日(金)	2月6日(木)	2月14日(金)	2月17日(月) ～ 2月25日(火)
一般入試(後期)	5名	2月19日(水) ～ 2月28日(金)必着	3月6日(木)	3月14日(金)	3月17日(月) ～ 3月24日(月)
大学入試センター試験利用入試(前期)	7名	1月 6日(月) ～ 1月24日(金)	個別試験は課しません	2月18日(火)	2月19日(水) ～ 2月25日(火)
大学入試センター試験利用入試(後期)	5名	2月19日(水) ～ 2月28日(金)必着	3月6日(木)	3月14日(金)	3月17日(月) ～ 3月24日(月)

◇社会福祉学部

入試種別	募集人員	出願期間	選抜期日	合格発表	入学手続期間
一般入試(前期)	35名	1月 6日(月) ～ 1月24日(金)	2月5日(水) ～ 2月6日(木) 試験日自選	2月14日(金)	2月17日(月) ～ 2月25日(火)
一般入試(後期)	5名	2月19日(水) ～ 2月28日(金)必着	3月6日(木)	3月14日(金)	3月17日(月) ～ 3月24日(月)
大学入試センター試験利用入試(前期)	3名	1月 6日(月) ～ 1月24日(金)	個別試験は課しません	2月18日(火)	2月19日(水) ～ 2月25日(火)
大学入試センター試験利用入試(後期)	2名	2月19日(水) ～ 2月28日(金)必着	個別試験は課しません	3月14日(金)	3月17日(月) ～ 3月24日(月)

◇看護短期大学部

入試種別	募集人員	出願期間	選抜期日	合格発表	入学手続期間
一般入学試験	43名	1月 6日(月) ～ 1月24日(金)	2月7日(金)	2月18日(火)	2月19日(水) ～ 2月25日(火)

※出願期間は一部を除き最終日の消印有効